

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	四半期報告書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の7第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	平成20年11月14日
<b>【四半期会計期間】</b>	第77期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
<b>【会社名】</b>	日水製薬株式会社
<b>【英訳名】</b>	Nissui Pharmaceutical Co., Ltd.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 佐々 義廣
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都台東区上野三丁目23番9号
<b>【電話番号】</b>	03-5846-5611
<b>【事務連絡者氏名】</b>	常務取締役 井上 祥夫
<b>【最寄りの連絡場所】</b>	東京都台東区上野三丁目23番9号
<b>【電話番号】</b>	03-5846-5611
<b>【事務連絡者氏名】</b>	常務取締役 井上 祥夫
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第77期 第2四半期連結 累計期間	第77期 第2四半期連結 会計期間	第76期
会計期間		自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高	(千円)	7,187,108	3,873,054	14,504,434
経常利益	(千円)	870,791	614,849	1,511,445
四半期(当期)純利益	(千円)	500,175	329,851	794,516
純資産額	(千円)		23,231,091	23,291,318
総資産額	(千円)		26,486,329	26,915,822
1株当たり純資産額	(円)		1,037.10	1,039.74
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	22.33	14.73	35.47
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)		87.7	86.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	116,763		1,161,543
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	789,847		283,384
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	203,833		425,912
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		2,091,687	2,968,604
従業員数	(名)		358	365

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載してお

りません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりませ

ん。  
 3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および連結子会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	358(93)
---------	---------

(注) 1 従業員数は、就業人員であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	338(83)
---------	---------

(注) 1 従業員数は、就業人員であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)
診断薬事業部門	
微生物学的診断用薬	996,801
免疫血清学的診断用薬	312,670
精度管理用血清他	80,461
小 計	1,389,932
医薬事業部門	
医薬品	501,004
健康食品他	354,548
小 計	855,552
合 計	2,245,484

(注) 金額は売価換算額によっており、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

販売計画に基づく生産計画により生産を行っておりますので該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)
診断薬事業部門	
微生物学的診断用薬	956,790
免疫血清学的診断用薬	838,937
精度管理用血清他	79,825
検査用機器および器材他	85,770
小計	1,961,324
医薬事業部門	
医薬品	835,716
健康食品他	1,076,012
小計	1,911,729
合計	3,873,054

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものです。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間における医薬品業界は、急速な高齢化、医療技術の進歩などを背景とした医療費の増加と健康保険財政の逼迫に対して、生活習慣病対策や長期入院の是正などの中長期的医療費適正化計画が策定され、医療費抑制策の浸透による厳しい事業環境が続いております。

診断薬関連領域では、医療機関での診断群別定額支払方式への移行の増加や療養病床の再編成（老人保健施設、ケアハウス等への転換）などにより厳しさが続いております。また、医薬関連領域では、OTC医薬品（一般用医薬品）市場は前事業年度に市場規模の回復が見られたものの、個人消費の伸び悩みなどにより厳しさが増しており、健康食品市場は市場の成熟のなか、さらに競争が激化しております。

このような状況のもとで、当社グループは全力をあげて販売の拡充に努めた結果、売上高は38億73百万円となりました。利益面におきましては、売上原価の減少や販売費及び一般管理費の節減により、営業利益は5億40百万円、経常利益は6億14百万円、四半期純利益は3億29百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

診断薬事業部門の売上高は細菌毒素検査薬TOX A/B QUIK CHEKや食物アレルギー物質検査薬FASTKIT、AIA自動分析装置専用試薬などが伸張り19億61百万円となりました。分野別では微生物学的診断用薬が9億56百万円、免疫血清学的診断用薬が8億38百万円、精度管理用血清他が79百万円、検査用機器および器材他が85百万円となりました。この事業部門の営業利益は4億24百万円となりました。

医薬事業部門の売上高はルミンAや海の元気シリーズの伸張により19億11百万円となりました。  
分野別では医薬品が8億35百万円、健康食品他が10億76百万円となりました。この事業部門の営業利益は2億98百万円となりました。

なお、両事業部門に配賦できない支援部門に係る費用等1億81百万円が控除されておりません。

## (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は264億86百万円となりました。

流動資産は、133億33百万円となりました。主な内訳は現金及び預金が19億63百万円、受取手形及び売掛金が34億42百万円、商品及び製品が15億86百万円、関係会社預け金が44億28百万円です。

固定資産は、131億52百万円となりました。主な内訳は建物及び構築物が22億92百万円、土地が20億6百万円、投資有価証券が68億18百万円です。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は32億55百万円となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金が13億31百万円、未払法人税等が3億75百万円です。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、232億31百万円となり、自己資本比率は87.7%となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が5億73百万円、減価償却費が1億29百万円である一方、その他の引当金が1億99百万円、売上債権が2億58百万円それぞれ増加したことやたな卸資産の減少が1億38百万円、法人税等の支払いが8百万円であったことなどにより6億21百万円のプラスとなりました。

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還による収入が2億86百万円、グループ金融への支出により関係会社預け金が2億円増加したことや有形固定資産の取得による支出が2億10百万円、投資有価証券の取得による支出が5億42百万円であったことなどにより5億90百万円のマイナスとなりました。

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金47百万円の支払いなどにより48百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、20億91百万円となりました。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および連結子会社）の事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は1億79百万円です。その内訳は診断薬事業部門1億12百万円、医薬事業部門41百万円、先端技術研究所25百万円です。

なお、当第2四半期連結会計期間において研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	44,000,000
計	44,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,547,140	22,547,140	東京証券取引所 市場第一部	
計	22,547,140	22,547,140		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	-	22,547,140	-	4,449,844	-	5,376,172

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本水産株式会社	東京都千代田区大手町2-6-2	12,106	53.69
ビービーエイチ ポストン ハートランド バリューストック ファンド インク (常任代理人 香港上海銀行東京支 店カストディ業務部)	789 N.WATER STREET MILWAUKEE WISCONSIN 53202 (東京都中央区日本橋3-11-1)	938	4.16
ユービーエス エージー ロンドン アカウント アイビービー セグリ ゲイテッド クライアント アカウ ント (常任代理人 シティバンク銀行株 式会社)	AESCHENVORSTADT 48 CH-4002 BASEL SWITZERLAND (東京都品川区東品川2-3-14)	598	2.65
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1-26-1	399	1.76
日水製薬のみり持株会	東京都台東区上野3-23-9	394	1.75
日水物流株式会社	東京都港区芝大門2-8-13	273	1.21
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル キャップ バ リューストック (常任代理人 シティバンク銀行株 式会社)	1299 OCEAN AVENUE, 11F. SANTA MONICA. CA 90401 USA (東京都品川区東品川2-3-14)	239	1.06
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口4G)	東京都中央区晴海1-8-11	180	0.79
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	145	0.64
日本マスタートラスト信託銀行株 式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	98	0.43
計		15,373	68.18

(注) 1 所有株式数は1,000株未満を、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数第3位以下をそれぞれ切り捨てて表示しております。

2 当社は、自己株式147千株(0.65%)を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 147,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,363,700	223,637	
単元未満株式	普通株式 36,340		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,547,140		
総株主の議決権		223,637	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が500株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数5個が含まれております。
- 2 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が74株および証券保管振替機構名義の株式が43株含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日水製薬株式会社	東京都台東区上野 3-23-9	147,100	-	147,100	0.65
計		147,100	-	147,100	0.65

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	668	706	717	695	735	732
最低(円)	610	630	657	603	686	687

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

### 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)および当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日 内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)および当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,963,054	2,865,954
受取手形及び売掛金	3,442,186	3,353,645
有価証券	253,950	1,376,480
商品及び製品	1,586,069	1,474,768
仕掛品	416,932	353,237
原材料及び貯蔵品	736,632	769,794
繰延税金資産	224,348	179,119
関係会社預け金	4,428,632	3,702,650
その他	299,439	235,015
貸倒引当金	17,357	17,233
流動資産合計	13,333,887	14,293,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,292,084	2,373,136
機械装置及び運搬具(純額)	824,603	505,282
土地	2,006,879	2,006,879
建設仮勘定	52,561	276,085
その他(純額)	248,492	299,995
有形固定資産合計	5,424,621	5,461,379
無形固定資産	53,021	73,840
投資その他の資産		
投資有価証券	6,818,916	6,488,810
繰延税金資産	596,795	375,825
その他	273,756	236,107
貸倒引当金	14,669	13,574
投資その他の資産合計	7,674,799	7,087,168
固定資産合計	13,152,441	12,622,389
資産合計	26,486,329	26,915,822

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,331,843	1,438,594
未払法人税等	375,440	232,477
賞与引当金	253,360	263,059
役員賞与引当金	14,500	14,300
返品調整引当金	16,727	24,857
歩戻引当金	17,753	17,224
その他	414,089	760,334
流動負債合計	2,423,714	2,750,848
固定負債		
長期未払金	111,072	129,312
退職給付引当金	337,506	365,415
その他	382,945	378,927
固定負債合計	831,523	873,654
負債合計	3,255,238	3,624,503
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,449,844	4,449,844
資本剰余金	5,378,356	5,378,349
利益剰余金	14,012,682	13,714,116
自己株式	95,042	94,299
株主資本合計	23,745,840	23,448,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	514,749	156,691
評価・換算差額等合計	514,749	156,691
純資産合計	23,231,091	23,291,318
負債純資産合計	26,486,329	26,915,822

(2)【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	7,187,108
売上原価	3,616,300
売上総利益	3,570,807
販売費及び一般管理費	2,871,220
営業利益	699,587
営業外収益	
受取利息	73,009
受取配当金	71,624
投資事業組合運用益	62,870
その他	22,078
営業外収益合計	229,582
営業外費用	
支払利息	727
デリバティブ評価損	54,480
その他	3,170
営業外費用合計	58,378
経常利益	870,791
特別利益	
投資有価証券売却益	66,059
特別利益合計	66,059
特別損失	
投資有価証券評価損	57,480
たな卸資産評価損	17,201
その他	2,677
特別損失合計	77,358
税金等調整前四半期純利益	859,493
法人税、住民税及び事業税	378,646
法人税等調整額	19,328
法人税等合計	359,317
四半期純利益	500,175

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	3,873,054
売上原価	1,925,635
売上総利益	1,947,418
販売費及び一般管理費	1,406,865
営業利益	540,553
営業外収益	
受取利息	34,805
受取配当金	35,660
投資事業組合運用益	62,870
その他	14,794
営業外収益合計	148,131
営業外費用	
支払利息	365
デリバティブ評価損	73,470
営業外費用合計	73,835
経常利益	614,849
特別利益	
投資有価証券売却益	18,293
特別利益合計	18,293
特別損失	
投資有価証券評価損	57,480
その他	1,810
特別損失合計	59,290
税金等調整前四半期純利益	573,852
法人税、住民税及び事業税	368,290
法人税等調整額	124,288
法人税等合計	244,001
四半期純利益	329,851

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	859,493
減価償却費	249,428
その他の引当金の増減額(は減少)	43,789
受取利息及び受取配当金	144,633
支払利息	727
売上債権の増減額(は増加)	89,646
たな卸資産の増減額(は増加)	141,833
仕入債務の増減額(は減少)	106,751
投資有価証券売却損益(は益)	66,059
デリバティブ評価損益(は益)	54,480
投資有価証券評価損益(は益)	57,480
その他	276,255
小計	352,640
法人税等の支払額	235,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,763
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
関係会社預け金の増減額(は増加)	700,000
有価証券の売却及び償還による収入	1,236,500
有形固定資産の取得による支出	479,969
無形固定資産の取得による支出	585
投資有価証券の売却及び償還による収入	485,757
投資有価証券の取得による支出	1,517,829
利息及び配当金の受取額	143,824
その他の資産の増減額(は増加)	42,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	789,847
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
リース債務の返済による支出	1,233
配当金の支払額	201,864
自己株式の増減額(は増加)	735
財務活動によるキャッシュ・フロー	203,833
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	876,917
現金及び現金同等物の期首残高	2,968,604
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,091,687

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

会計処理の原則及び手続の変更

(1)重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法)により算定しております。これにより、営業利益および経常利益が8,328千円、税金等調整前四半期純利益が25,529千円、それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

(2)リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をしておりましたが、「リース取引に関する会計基準(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる損益およびセグメント情報に与える影響は軽微であります。

**【簡便な会計処理】**

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）  
該当事項はありません。

**【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】**

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）  
該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額 10,494,162千円	有形固定資産の減価償却累計額 10,440,113千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費の主なもの	
給与及び手当	642,938千円
歩戻引当金繰入額	17,753 "
賞与引当金繰入額	171,098 "
役員賞与引当金繰入額	14,500 "
退職給付費用	68,892 "

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費の主なもの	
給与及び手当	318,370千円
歩戻引当金繰入額	17,753 "
賞与引当金繰入額	120,740 "
役員賞与引当金繰入額	7,250 "
退職給付費用	31,569 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
現金及び預金	1,963,054 千円
預入期間が3か月以内の関係会 預け金	128,632 "
現金及び現金同等物	2,091,687 千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日  
 至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	22,547,140

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	147,174

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月25日 定時株主総会	普通株式	201,609	9	平成20年3月31日	平成20年6月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効  
 力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年10月30日 取締役会	普通株式	223,999	10	平成20年9月30日	平成20年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	診断薬事業 (千円)	医薬事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	1,961,324	1,911,729	3,873,054		3,873,054
営業利益	424,004	298,521	722,526	(181,973)	540,553

(注) 1 事業区分の方法

製商品の種類による区分として診断薬事業部門および医薬事業部門に区分しております。

2 各事業区分の主要製商品

診断薬事業部門 微生物学的診断用薬・免疫血清学的診断用薬・精度管理用血清他・検査用機器  
 および器材他

医薬事業部門 医薬品・健康食品他

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	診断薬事業 (千円)	医薬事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
外部顧客に対する売上高	3,763,781	3,423,327	7,187,108		7,187,108
営業利益	710,268	389,634	1,099,902	(400,315)	699,587

(注) 1 事業区分の方法

製商品の種類による区分として診断薬事業部門および医薬事業部門に区分しております。

2 各事業区分の主要製商品

診断薬事業部門 微生物学的診断用薬・免疫血清学的診断用薬・精度管理用血清他・検査用機器  
 および器材他

医薬事業部門 医薬品・健康食品他

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)  
在外子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)および当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)  
海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1,037.10円	1,039.74円

2 1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	22.33円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	500,175
普通株式に係る四半期純利益(千円)	500,175
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	22,400,592

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	14.73円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	329,851
普通株式に係る四半期純利益(千円)	329,851
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式の期中平均株式数(株)	22,400,314

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第77期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)中間配当については、平成20年10月30日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	223,999千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成20年12月4日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

日水製薬株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 栄 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 宏 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 千 葉 通 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日水製薬株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日水製薬株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。